

# てんご新聞

15.5.No21  
発行市岡町  
責任者 0883-88-529

いよいよ待ちに待った山歩きを楽しまい、リーズンがやっつきました。  
剣山の4月29日山歩き。  
天気の良い日は絶好の釣り日和。

日仏ち日と緑深まる。祖谷の山々。まだ千四〇〇M位の高山になると木の芽もこのからですが、途中の道々には、春の花が多く見られるように感じました。  
フシや桐の花、そして五月になると空木の白い花が多く見られる。  
ひとすわの色がおいでいるのは、ヤマツツシオオニツツシの様です。  
イヤクナゲもみられまます。  
野首も次々と咲き、春を演じ出している。  
西祖谷の、クワガイソワも今が見頃。エビネは人が咲いている。



祖谷六谷 遠望峠

## 春と三嶺 剣山

～4.29 山南王～  
かんのエサを求めこんるのびまか、被害は増えるばかりだ。  
春のリーズンほの山、山木も動物と競争だ。  
その上、山の物は誰が獲ることもレの考えで、平地が家の周辺でも獲つていきます。  
春の頭は痛いところだ。  
持つだけドロドロ、

の季節だ。 葉しんご下さい。  
三枚の厚紙の様に緑一色に色どられ、まに祖谷の山々も、一歩山の中に入ると不思議な光景になつてきます。  
草という下層植物が少いというより、失くさりつつあります。また一M位しかないので、葉も芽がやられなくなっている。  
山野草がなくなっているのは、人間様が盗る帰るり、ほんのりするのびまか、唐様もエサとして食べて、植物や低木は芽が出る間になんか住んでる周辺に底力もエサが出現するのび、よい



## 晴のち雨...

一昔前、そう五十年前位前は、田舎の若者は、町へ町へ仕事を探めに出ていきました。  
その人達は、町の中に生活しはじめ、田舎は、思い出の中だけ。  
そして、過疎化になり、農地も杉林となり、空屋が増えくる。  
若者がいなくなれば、当然ながら子供も少なくなるとなる。  
踊るいニュースが少なくなるとなる。  
なか今、新しい高売が時々、それは、町から秋葉口を丁かして来た若者たちによる、始まるよつび、これと時代の変化といえればそれかもしれませんが、さっぴりさみしいネ。

